

練馬区における町会・自治会の概要等について

1 町会・自治会(252団体 平成23年7月1日現在)の概要

町会・自治会の加入世帯数

139,795世帯(全世帯数335,635世帯)

町会・自治会の加入率

41.65%

町会・自治会の規模

世帯数	団体数
1,000世帯以上	46団体
500世帯以上 1,000世帯未満	46団体
100世帯以上 500世帯未満	86団体
100世帯未満	74団体

2 練馬区町会連合会

練馬区内の町会・自治会で構成される組織(加入は任意)

平成22年度実績 全248団体中218団体が加入

支部会(17支部)

旧出張所管轄ごとに、町会連合会への加入・非加入に関係なく、その範囲にある町会・自治会で構成される組織(年2回~3回開催)

【支部会設置の主な目的】

ア 情報を伝達するルートをつくること

練馬区や公共機関、東京都町会連合会などからの情報をより丁寧に伝える等

イ 地域の町会・自治会が相互に情報や意見交換をして交流できるようにすること

ウ 地域の要望や意見をまとめて、練馬区などに働きかけられるようにすること

平成22年度の支部会で話し合われた主な内容(意見)等

1 マンション住民の加入対策に関すること

開発業者に対して、入居世帯に町会・自治会へ加入することを勧めてもらえるようお願いしても、あまり協力的してもらえない。

マンション管理組合として町会に加入する際の会費の金額は、交渉で決めることも必要だと思う。あまり高いと加入しないケースもある。

<p>加入・非加入よりも、情報網が大事である。いざという時に右往左往しないように連携する必要がある。</p> <p>戸建の高齢者の把握、見守りはできるが、マンションは難しい。</p>
<p>2 加入促進に関すること</p> <p>マンションや戸建が建って、入居を開始した時に、直接町会・自治会の加入についてのパンフレットを渡すのが効果的である。</p> <p>夏祭りや防災訓練の際に町会・自治会のPRを行っている。</p> <p>定年退職をされた方の中には、協力をしてくれる人もいる。</p> <p>若い人にも行事等を手伝ってもらいたいが、仕事があるので難しい。</p> <p>最近、町会・自治会に加入すると色々とお願ひされることが多くて、煩わしいと感じている人が多い。</p> <p>近所で戸建住宅が建設された。新築住宅に入居後、入居者を集めてゴミの出し方や消火器のこと、街路灯のことなどを話すようにしている。話をした後に町会・自治会への加入の勧誘をすると、加入してくれることが多い。</p> <p>町会・自治会へ加入するようになるには、町会の方から積極的に働きかけていかないと加入してもらうのは難しい。</p>
<p>3 行事に関すること</p> <p>敬老会の対象者が増加しているため、予算が厳しい。今後、何らかの対応を検討する必要があると感じている。</p>
<p>4 情報の周知に関すること</p> <p>日中留守の家が多いため、回覧板がスムーズに回らない。</p> <p>回覧板は見ない人がいる。掲示板は誰でも見ることができるため、効果的である。</p>
<p>5 区への要望</p> <p>マンションの建設時に町会・自治会への加入を呼びかけて欲しい。</p> <p>朝早い時間の会議に参加を依頼されることがあるが、練馬区役所での会議では、地域によっては参加が大変であるため、考慮して欲しい。</p> <p>回覧板に挟み込むチラシが、バラバラに送られてくる。ある程度まとまって届くよう区でルールを決めて欲しい。</p> <p>町会・自治会が区立施設を利用する際は、優先して欲しい。</p> <p>ラジオ体操などの行事に対して、区から補助金などを出して欲しい。</p>

練馬区町会連合会支部連絡会

町会連合会の役員と各支部の支部長で構成される組織（年2回～3回開催）